

慶安二年頃「弘前古御絵図」(弘前図書館蔵)

—— 若干の解説と復元 ——

長谷川 成一

はじめに

一九八〇年代に入って、近世都市の研究が従来の城下町研究の枠組みから離れた、所謂「近世都市研究」として発展を見たことは、周知の事実である。そのなかでは、町自治、町民結合のありかたなど様々な視点からの問題提起がなされ、その点では今までにない研究成果を多く生み出してきた。しかしそれが主に幕藩体制下における江戸・大坂・京都など、所謂三都に重点を置いて蓄積されてきたことは否めない事実であり(注1)、各地方における主要都市の研究が、それに追いつかないという実情があることも認識しておく必要がある。

それにはさまざまな原因が考えられるが、一つには絵図史料が巨大であるため、それを閲覧することが容易でなく、また閲覧する度に当該史料が破損したり、もしくは付箋が剥がれたりすることによって保存上の問題が生じてきたことがあげられる。そのため保管者側が研究者に対して、当該史料の公開を渋りがちになったので

ある。しかしこれは保管の任に当たる側にとっては当然のことであり、その点ではやむをえない事情があることを、筆者は十分に承知しているつもりである(現に本稿で取り上げる「慶安絵図」も、破損の進行を考慮して閲覧停止になっている)。

このような現状を克服する一つの手段として、我々がなし得ることとは、貴重な絵図史料を醵刻して学界に提供することであり、研究者の共有財産とすることである。すなわち原史資料をその都度ひろげることなく、絵図の閲覧ができるような状況を作り出すことなのである。それによって史資料破損の進行を防止することが可能になり、ひいては文化財の保護に多少なりとも寄与することができるようではないかと思われる。なお北東北地方にあって、右の観点から初めて近世初頭の絵図の復元を試みたのが、『本莊市史』史料編Ⅰ上(本莊市 一九八四年)に掲載した慶長末・元和初年にかけての「本莊城下絵図」であった。

本稿にあって取り上げた慶安二年(一六四九)頃と推定される「弘前古御絵図」(以後、「慶安絵図」と略称する)は、近世前期におけ

る北奥地方の中核都市であった、「弘前」を考察するうえで欠くことのできない史資料である。そのみならず、同絵図が城下の各町人職人の職業、稼業、屋号などを網羅していることを考慮すれば、これは全くほかに例を見ない、全国的にも極めて珍しい絵図であることが建築史を始めとする各方面の研究者より指摘されている。

本稿ではこのような歴史的にも重要な意義を有する当該町絵図を復元し、若干の解題とデータを付すことにした。この作業を通じて筆者は、近世都市研究の前進にいささかなりとも貢献できるのではないかと考えている次第である。

注1 近年、近世都市図の重要性がとみに認識されてきており、その関係の史料集も刊行されるようになった。例えば江戸に関しては、飯田龍二・俵元昭『江戸図の歴史』（築地書館 一九八八年）が最近刊のものであり、江戸図に関する詳細な論稿が掲載されている。ただし絵図自体は写真版であって、図に書き込まれている文言の解説は困難であった。

一、「慶安絵図」についての簡単な解題と若干のデータ

① 「慶安絵図」についての簡単な解題

「慶安絵図」は、弘前図書館に架蔵され、津軽家文書に入っている（図書番号は、M55）。『弘前図書館蔵津軽家文書総目録』（弘前市立弘前図書館 一九八四年）によれば、「弘前古御絵図 写 一舗、

二一八×二一五 註…慶安二年（一六四九）作成の絵図と推定 家中侍は氏名 町家は職業と名前を記入している」（同書 一一八頁）とある（なお二一八×二一五とは、絵図の南北が二一八cm、東西が二一五cmという意味であり、南北に若干長い、ほぼ正方形の絵図である）。このほか、絵図全体に着色が施されており、町名、川名、淵名などが当該の箇所に入記されて、絵図閲覧の理解を助けるようになっている。屋敷所持者名は、全て正面入り口及び道路に向けて頭の文字が記されている（注1）。

右の註には、同絵図を慶安二年と推定した根拠は示されていないが、これは、慶安二年五月の寺町大火によって、現在の元寺町を中心とする一帯が焼亡し、寺町にあった寺院が翌慶安三年に現在の新寺町へ移転したことを背景としている（注2）。「慶安絵図」には、元寺町の部分が空白であり、新寺町に新たな町割りが見えないのである（注3）、慶安二年の寺町大火直後の弘前城下を描写したものと推定したのである。右の空白を如何に考慮すべきかという問題があるが、正保年間の「津軽弘前城之絵図」（内閣文庫蔵）には、該当箇所に「門徒寺」「天台寺」などの屋敷割がなされており、空白は、恐らく、焼亡直後の状況を描写していると解釈されよう。なお筆者は右の年代推定に賛成である。

「慶安絵図」を元にした十七世紀前期、慶安二年の大火以前の弘前城下については、長谷川成一編『津軽近世史料1 弘前城下史料』上（北方新社 一九八六年）に収録した拙稿「弘前城下について」

と題した論稿を参照されたい。また同書二五頁の「町絵図の作成」の項目において、「慶安絵図」以後の弘前における町絵図作成の実態を簡単に紹介しておいた。これも参考にされたい。

注1 「はじめに」の注1に掲げた「江戸図の歴史」二〇一三〇頁によれば、この屋敷所持者の名前の文字表記で、頭の文字が道路に面し、そこから背後に向かって文字が続き、正面入り口の位置を示しているのは、絵図から地図への移行を示すものであり、当時の地図作成技術は、幕藩体制成立期からかなり正確なものであったと述べている。「慶安絵図」にも同様のことがいえるのであり、当時津軽藩においても高度な地図作成技術、測量技術を保持していたことが知られるのである。

注2 「津軽編覧日記」（弘前図書館蔵）慶安二年五月三日の条によれば、「弘前横町算盤屋久兵衛宅より出火、本寺町五ヶ寺類焼、其外町屋まで焼失」とある。

注3 新寺町の新たな町割りが描かれているのは、万治二年（一六五九）の「津軽弘前古絵図」（弘前図書館蔵）である。万治年間の新寺町と南溜池一帯の状況については、拙稿「1、南溜池の歴史」（『弘前城跡南溜池発掘調査報告書』弘前大学 一九八七年）一五・一六頁を参照されたい。

② 「慶安絵図」に関する若干のデータ

本稿では紙数の関係もあり、「慶安絵図」に基づいた分析を行うことはしない。ただし、当該絵図を卒業論文のテーマとして研究に取り組んだ、本学人文学部人文学科国史学専攻卒業生（一九八四年度卒業 現在室蘭工業高等学校教諭）である井上雅彦君の卒業論文、

『北奥城下の研究——「弘前古御絵図」の分析を中心として——』にあって掲げられている、同絵図に関するデータを一部紹介しておきたい。なお当該絵図の破損箇所や数え方の違いによって、改めてカウントした場合、多少の誤差の生じる可能性が高い。ここでは井上君のカウントした結果を尊重して、例外的に一部手直した箇所を除き、殆んどそのまま掲げることとした。あくまでも城下全体の傾向を把握するという観点から、同データを御覧いただきたい。

このたびの復元作業においても、同君の研究を参照したことを御断りしておくとともに、同君に感謝する次第である。

表1 「くみかしら」の城下分布

城 南	城 東	城 北	城 西	地域
鍛冶町 茂森町	土手町 親方町 寺町	大浦町 黒石町 蔵主町 八幡町 横町 下長町	博労町 亀甲町 荒町 本紺屋町 紺屋町	町名
三国屋 居鯖 居鯖 煙草屋 煙草屋	越後屋 居鯖 阿波屋 山田屋 豆腐屋 大坂屋 煙草作り	近江屋 村田屋 志の田屋	塗師 酒屋 紺屋 紺屋	職名(屋号)
藤兵衛 六蔵 又兵衛 孫兵衛 五郎兵衛 次兵衛 庄司太兵衛 奎兵衛	仁右衛門 新村浄信 小右衛門 作右衛門 利右衛門 四郎右衛門 里右衛門 与左衛門 長二郎 孫四郎 弥左衛門 市左衛門 長三郎	長三郎 左太郎 九右衛門 介兵衛	半四郎・藤右衛門 七右衛門 添二郎 作十郎	姓 名

表2 屋号の地域分布

近 畿	北 陸	東 北	地 方
近江屋 大津屋 長浜屋 堺屋 大和屋 山科屋 伊勢屋 大坂屋 京屋 富山屋 輪島屋 若狭屋 越前屋 越後屋 加賀屋 最上屋 黒石屋 南部屋 仙台屋 米沢屋 秋田屋	1 1 3 5 5 6	1 1 1 2 2 8	軒数
関 東	九 州	中 国	地 方
甲州屋 水戸屋 川越屋 常陸屋 江戸屋 長崎屋 宮崎屋 唐津屋 阿波屋 石見屋 尾張屋 三河屋 広島屋 備後屋 但馬屋 丹波屋 備前屋 兵庫屋 播磨屋	1 1 2 1 1 3 1	1 1 1 2 2 3 4	軒数

表3 屋号の地域別軒数

地 域	軒 数
日本海沿岸	34
太平洋沿岸	18
畿内五ヶ国	39
瀬戸内沿岸	9

表4 「寛永末年弘前城之絵図」（弘前市立博物館蔵）と「慶安絵図」

屋敷数比較（「慶安絵図」には明家も含み、御小人町の明家三三三軒は小人の中を含んだ）

	寛永末年弘前城之絵図	慶 安 絵 図
町屋	一二四一（六六・八％）	九五〇余（六〇％）
武家侍衆	三三六（一八・一％）	四二〇余（二六・五％）
足軽	三〇（一・六％）	小知行 一三〇（八・八％）
小人	一二八（六・九％）	一三八（八・七％）
歩ノ者	四七（二・五％）	二〇（一・一％）
鷹匠	二四（一・三％）	二八（一・八％）
寺社屋敷	五三（三％）	三五（二・二％）

二、「慶安絵図」の復元

「慶安絵図」復元に際しての凡例を、次に掲げることにした。

凡 例

一、本稿では原則として、慶安二年頃「弘前古御絵図」（弘前図書館蔵）の原本写真を元に復元作業をおこなった。そのほかに復元に際して参考としたのは、「絵図に見る弘前の町のうつりかわり」（弘前市立博物館 一九八四年）の絵図写真である。

一、復元絵図は、全体を三三区分に分けて可能な限り忠実にその図形を模写し、屋敷所持者などを転記した。各分割図は城下の西側部分から始め北側部分↓東側部分↓南側部分↓中央部分（郭内）の順で並べ、その図に番号を付した。一部重複している箇所もある。全体図に各図の番号を記入しておいたので、それと対照していただきたい。

一、分割図には、各図の番号と方向を示す記号4十をいれた。

一、分割図は、おおむね同一の縮尺で復元したが、屋敷所持者名を記入するのに不都合な分割図は、縮尺を替えてある。

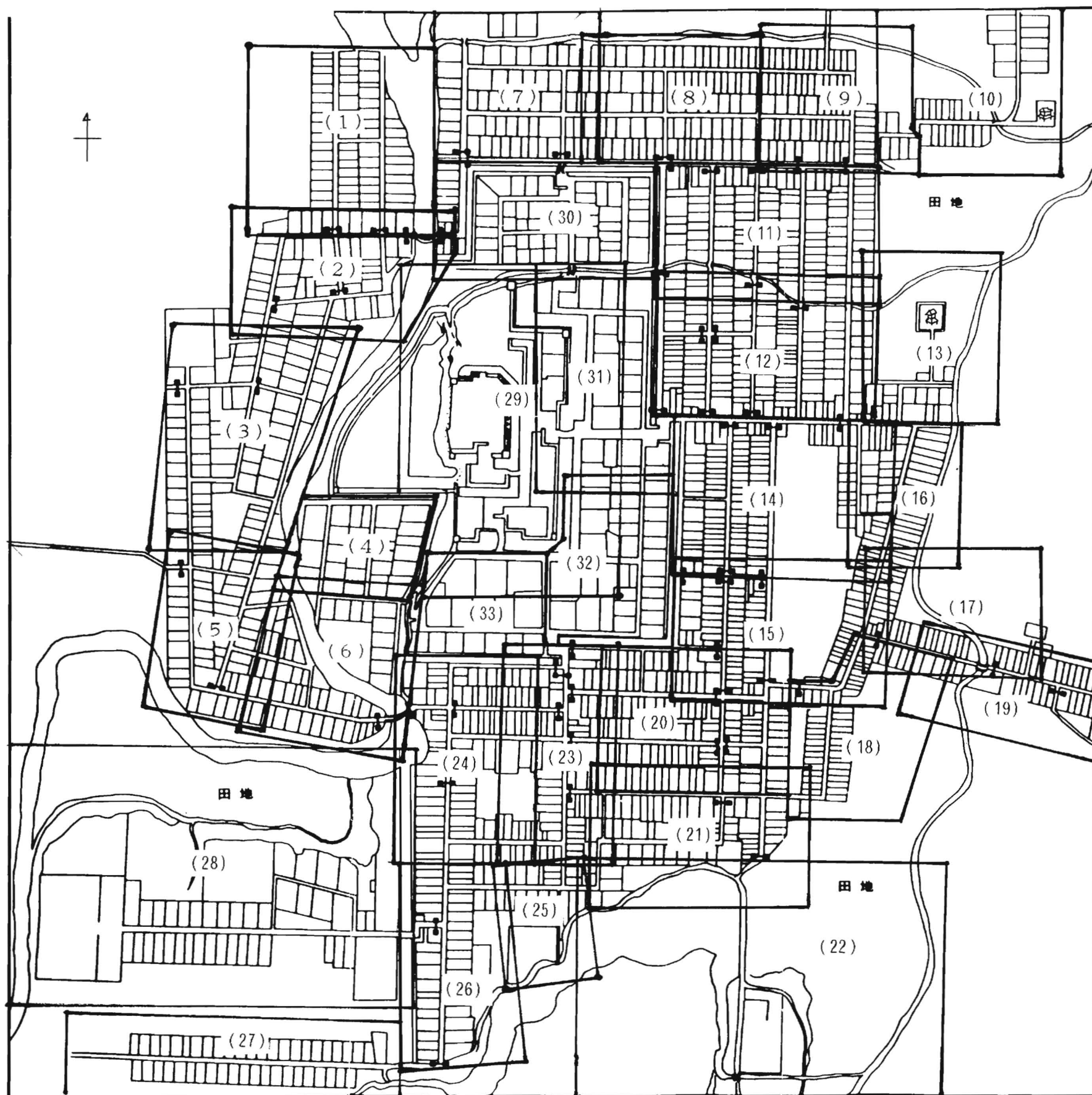
一、全体図は、前掲『絵図に見る弘前の町のうつりかわり』一〇頁の「木戸の配置」図を拡大して使用した。図中の■は、木戸の記号である。

一、絵図中の漢字はおおむね常用漢字になおし、変体仮名並びに合字も通用の仮名になおした。

一、絵図に張られている付箋で、解読可能のものは「」を付してはかと区別した。解読不可能のもの、もしくは復元絵図に記載不能のものは採録しなかった。

一、原本絵図に一部破損箇所があり、そのため復元作業のできなかった箇所があったことをお断りしておく。破損の箇所は「」で示した。

一、重臣屋敷を始めとする郭内（城内）の屋敷には、屋敷の間口と奥行の間数が記されていたが、解読不能のものもあり、しかも与えられた紙面のスペースの問題もあったため、このたびの復元図にはそれらを記入しなかった。後日を期したい。



六



The diagram is a floor plan of a traditional Japanese residence, oriented with the entrance (門) at the top. The plan is divided into several main sections:

- Top Section (Entrance Area):** Includes the entrance (門) and a large veranda (縁側) area. Occupants listed include 御主人 (Master of the House), 御夫人 (Lady of the House), and 御子 (Children).
- Left Section (Study/Bedroom):** Contains rooms for 御主人 (Master of the House), 御夫人 (Lady of the House), and 御子 (Children).
- Right Section (Kitchen/Service Area):** Includes a kitchen (台所) and a service area (御用). Occupants listed include 御主人 (Master of the House), 御夫人 (Lady of the House), and 御子 (Children).
- Bottom Section (Garden/Pond):** Features a large garden (庭) and a pond (池). Occupants listed include 御主人 (Master of the House), 御夫人 (Lady of the House), and 御子 (Children).

Rooms are labeled with names and titles, such as 御主人 (Master of the House), 御夫人 (Lady of the House), and 御子 (Children). The plan also shows a large veranda (縁側) and a garden area with a pond (池).

4

(4)

乳井込三左衛門 跡代粉 堀田村加十	大庭伊右衛門	竹尾清兵衛	柳引〔破損〕	奈良岡右衛門	「長谷川小左衛門家」 「正義左衛門信」	小出又四郎
				影文書		
				影文書		

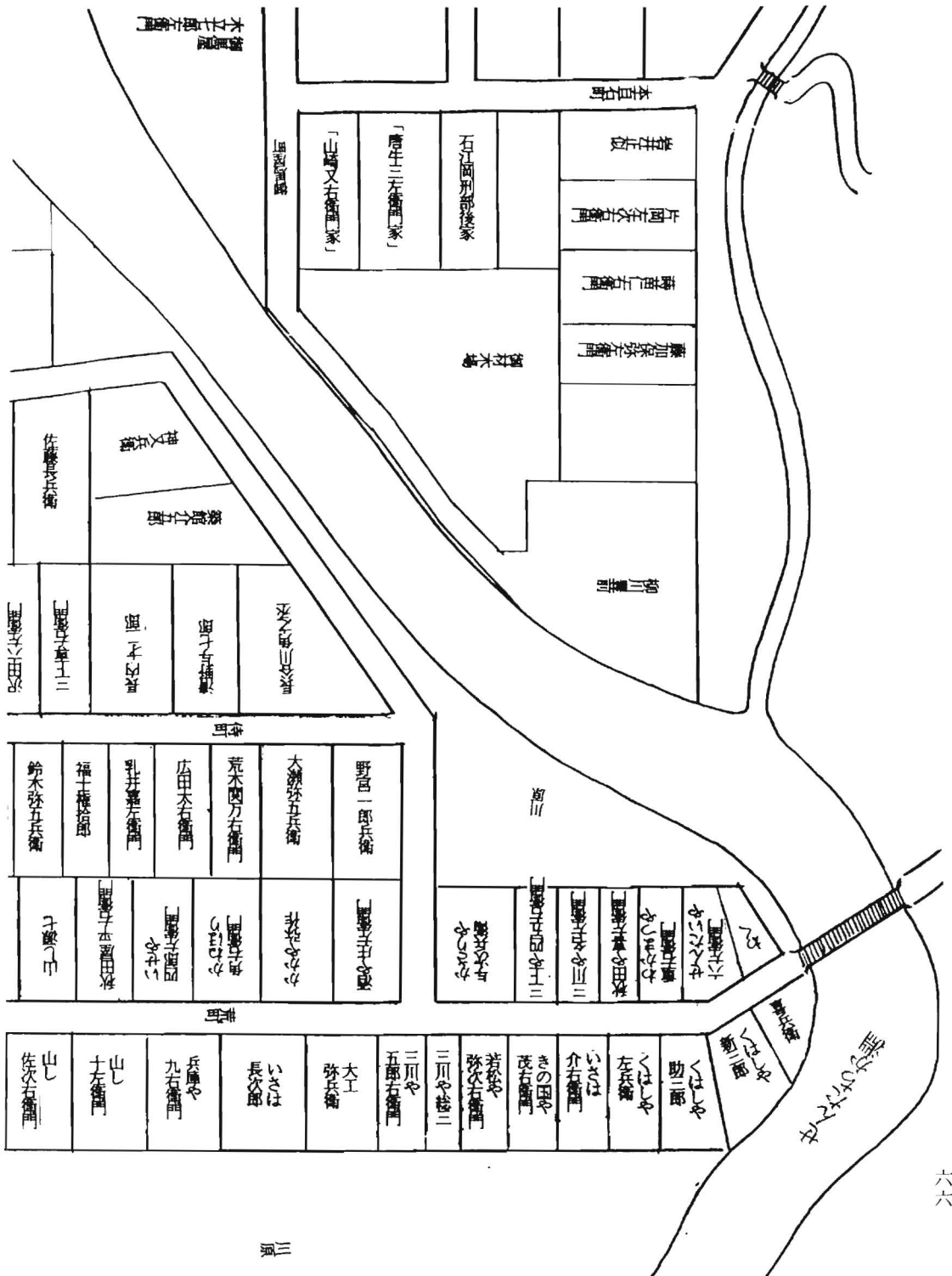
本頁右町

同

舟水与郎	藤子公事		山本徳兵衛	二町田重太郎	一町田佐兵衛
中江一兵衛	藤子公事		山本徳兵衛	二町田重太郎	一町田佐兵衛
堀田五郎七郎	佐藤五右衛門		堀田五郎七郎	堀田五郎七郎	堀田五郎七郎

川原		
御馬屋 木立屋	御馬屋 木立屋	御馬屋 木立屋

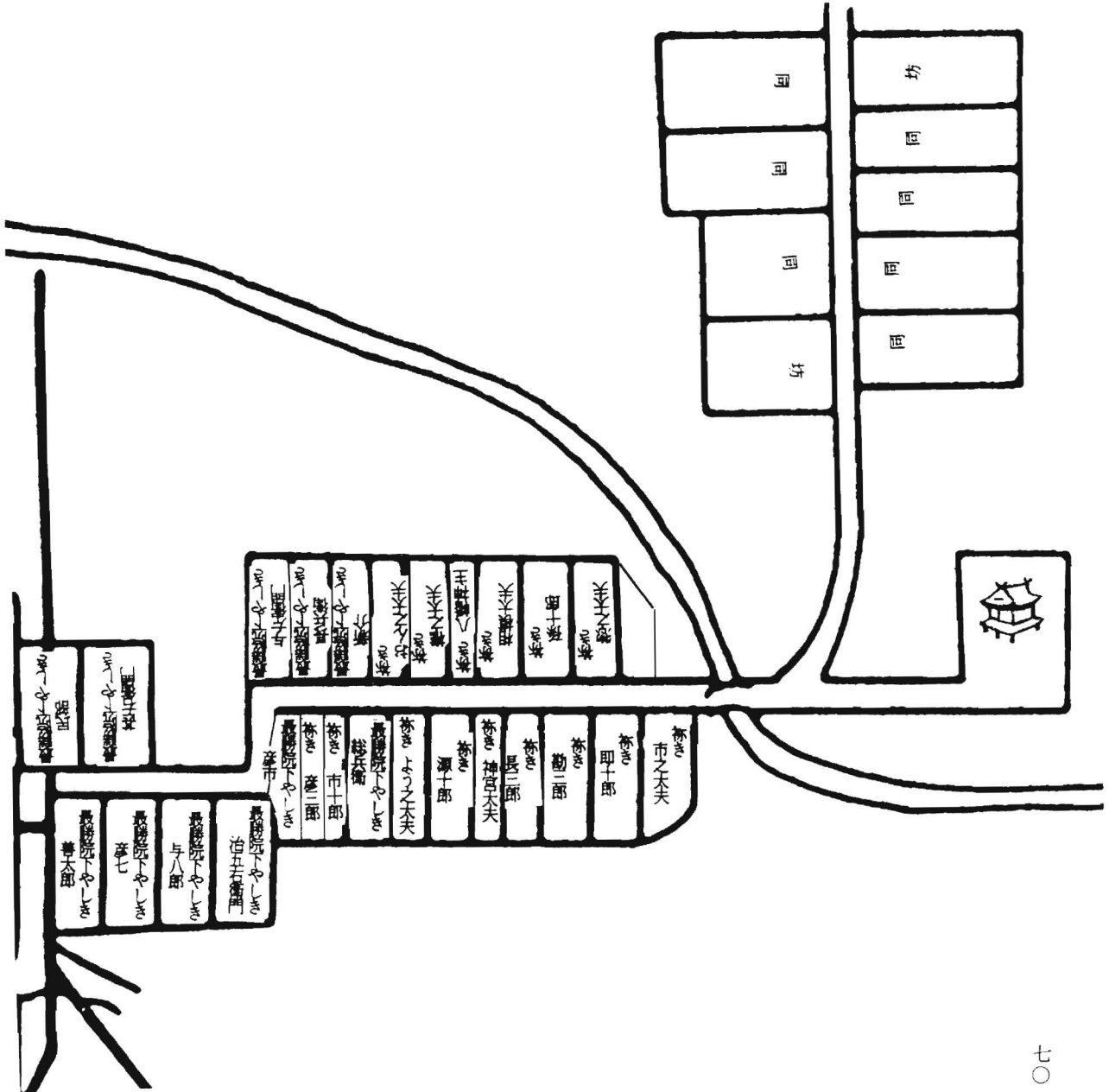
六五



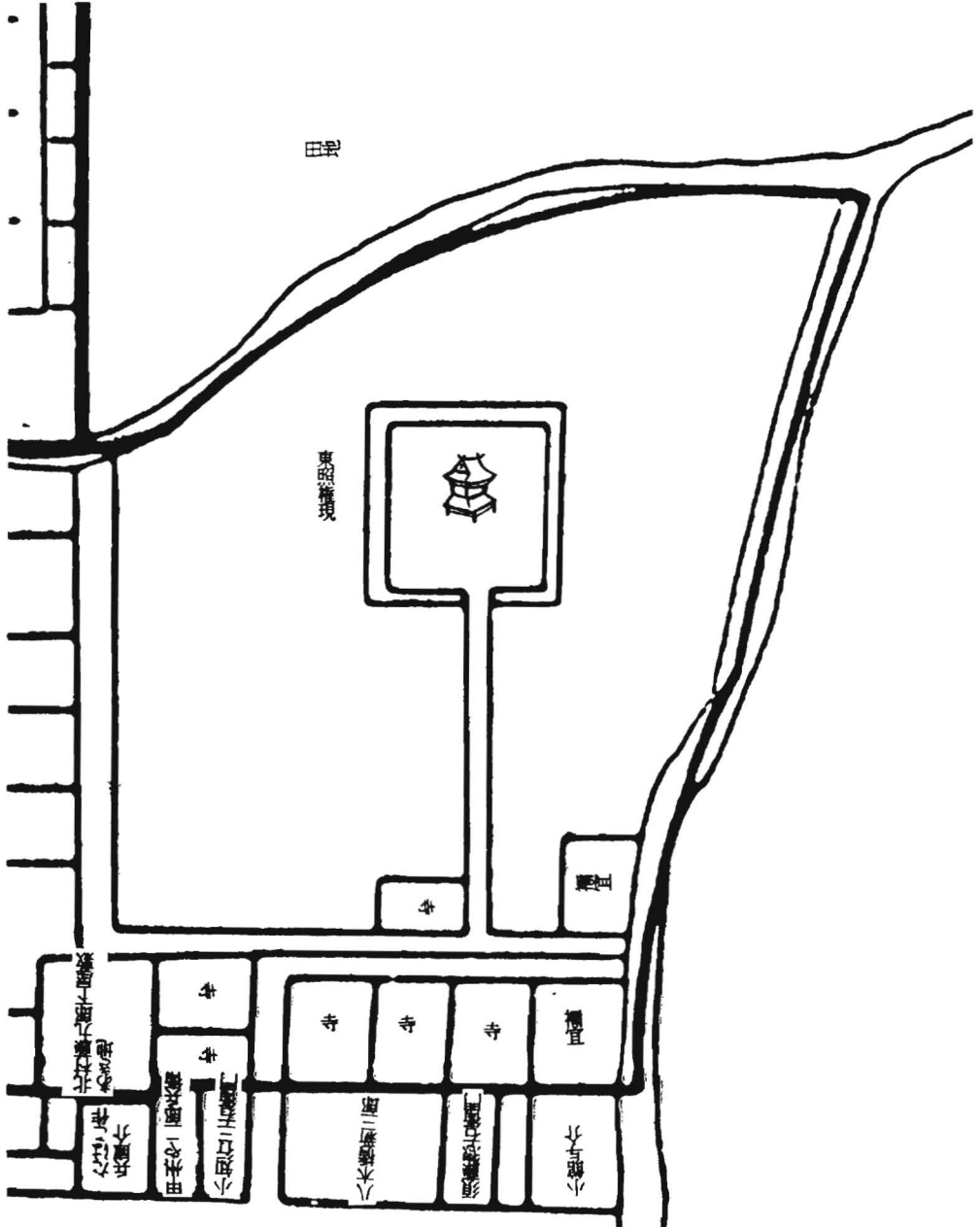
[illegible]

[illegible]

六九

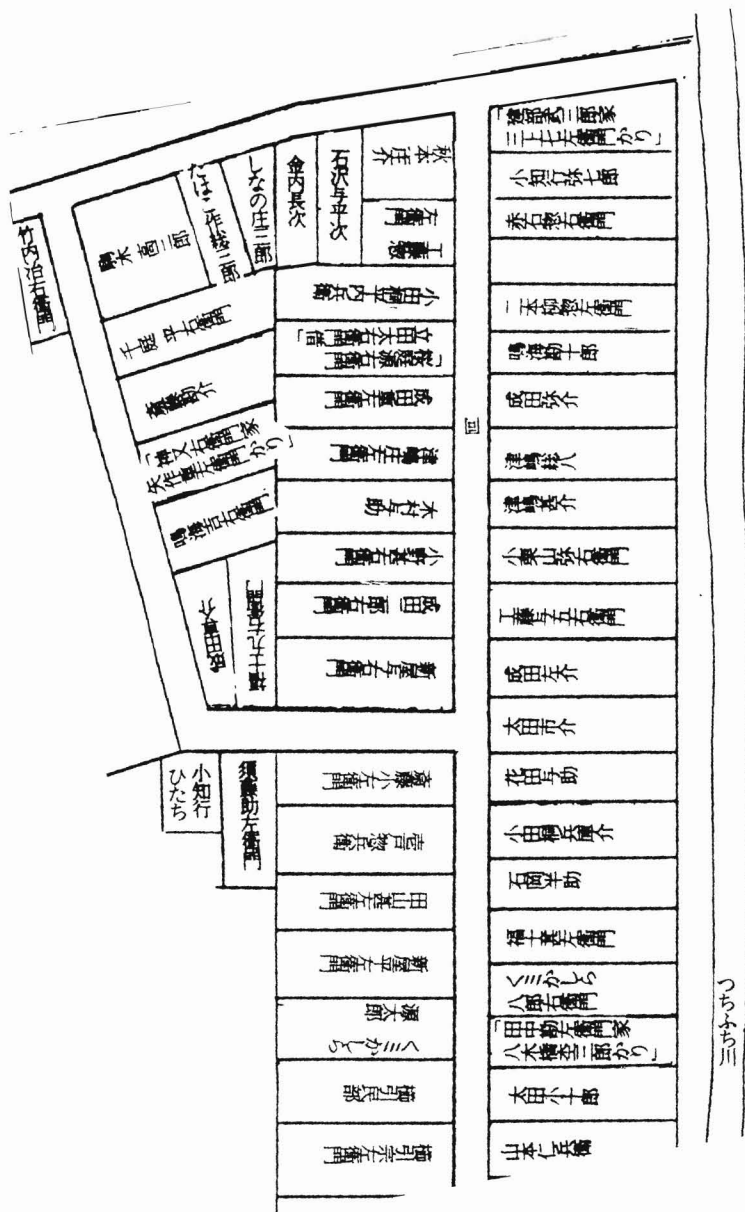


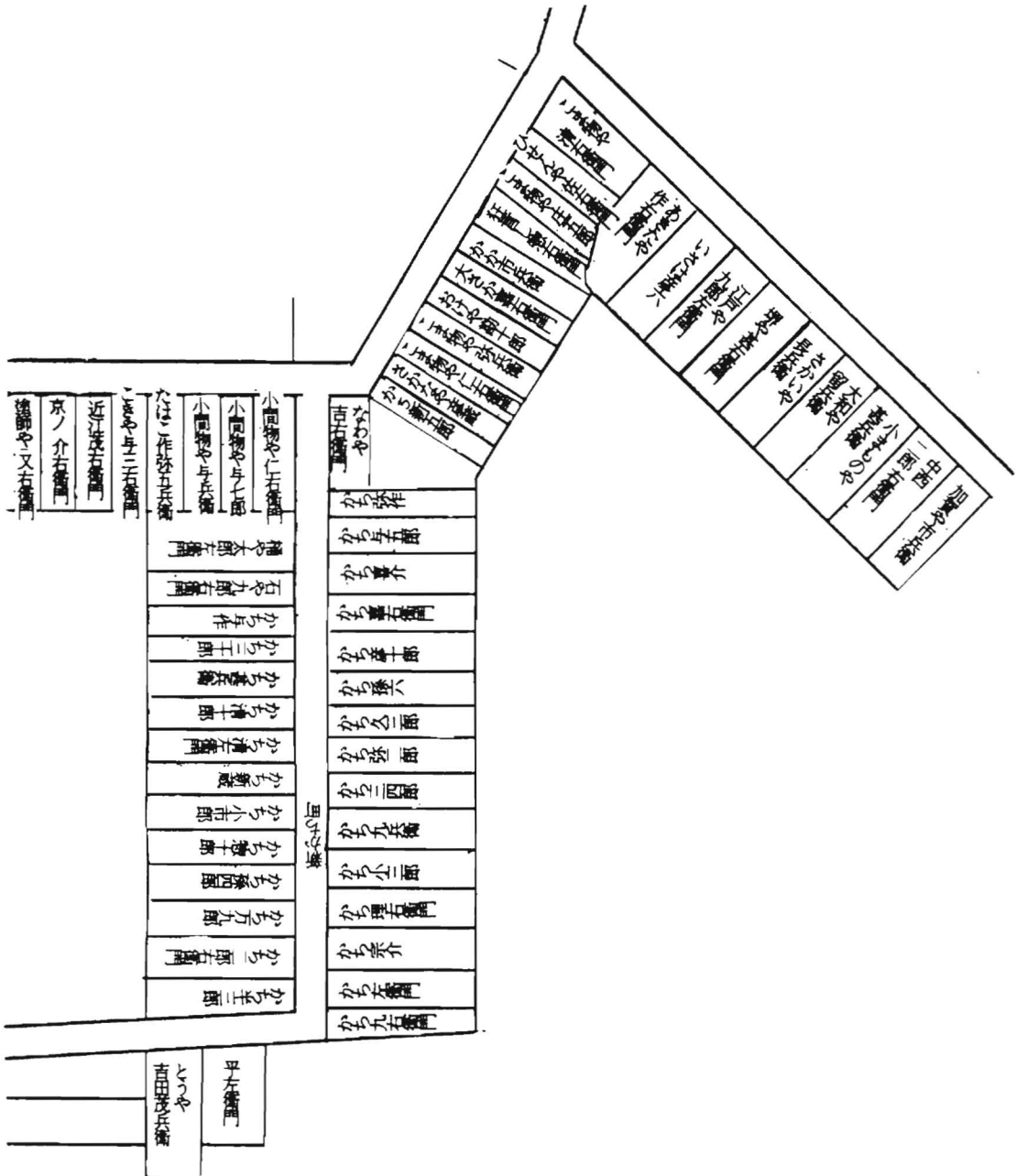
七

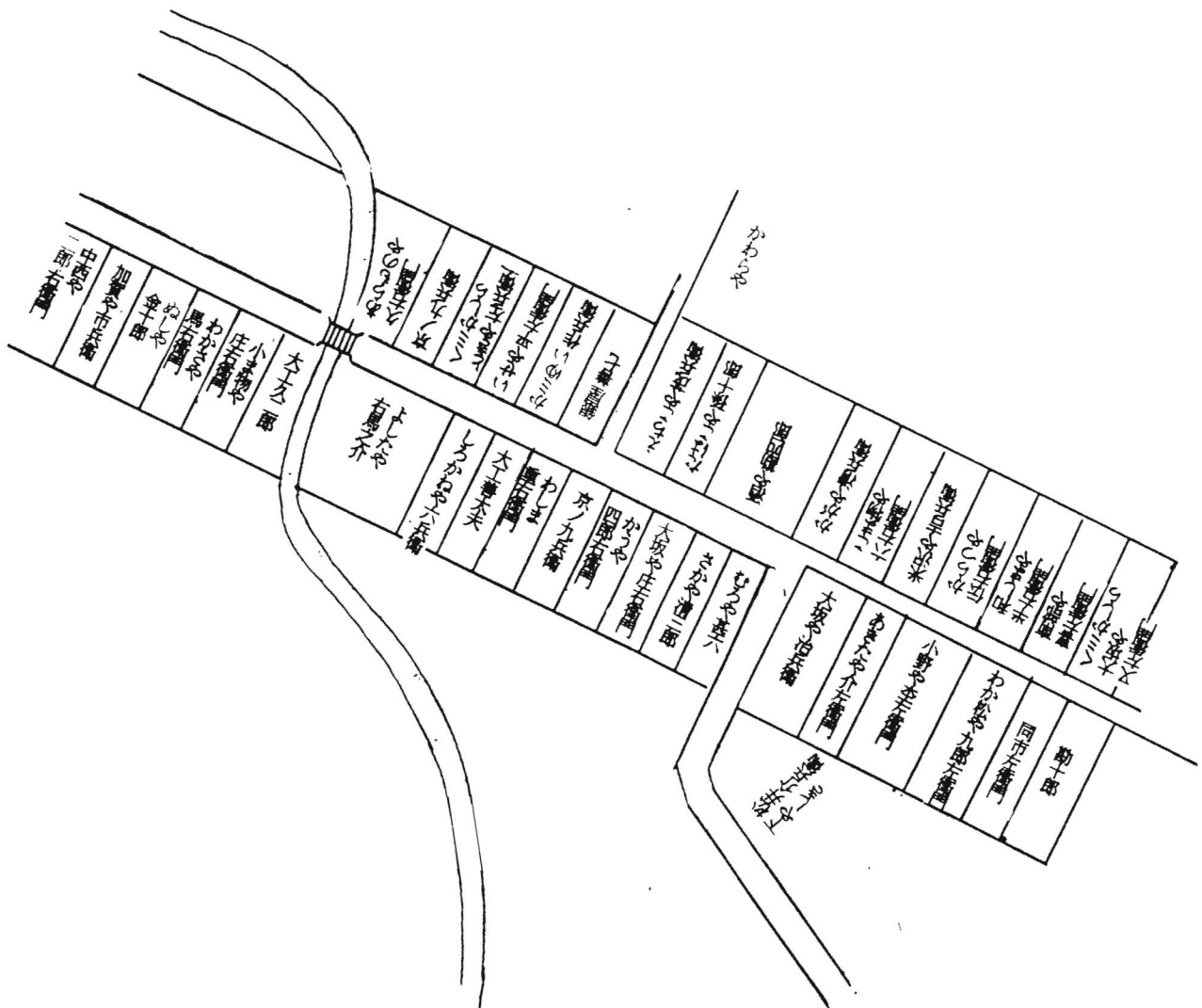


[illegible]

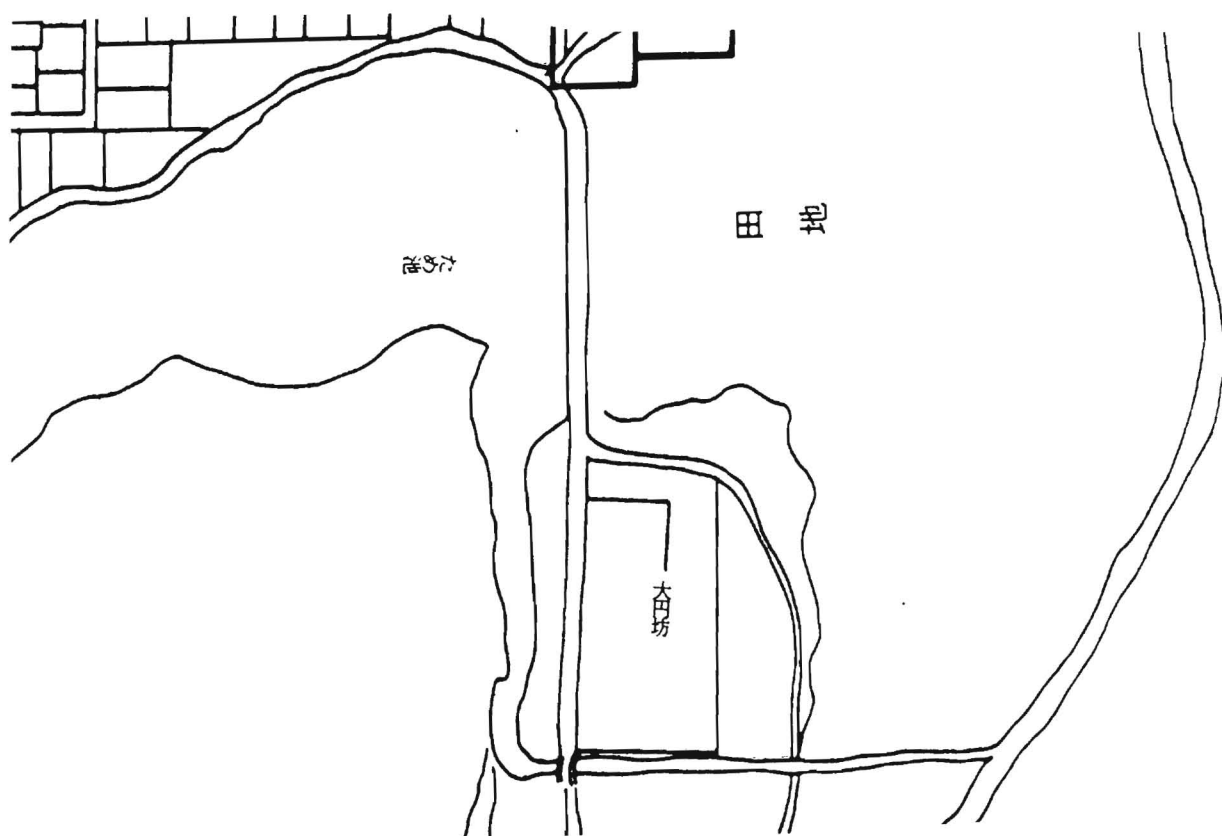








[illegible][illegible][illegible]

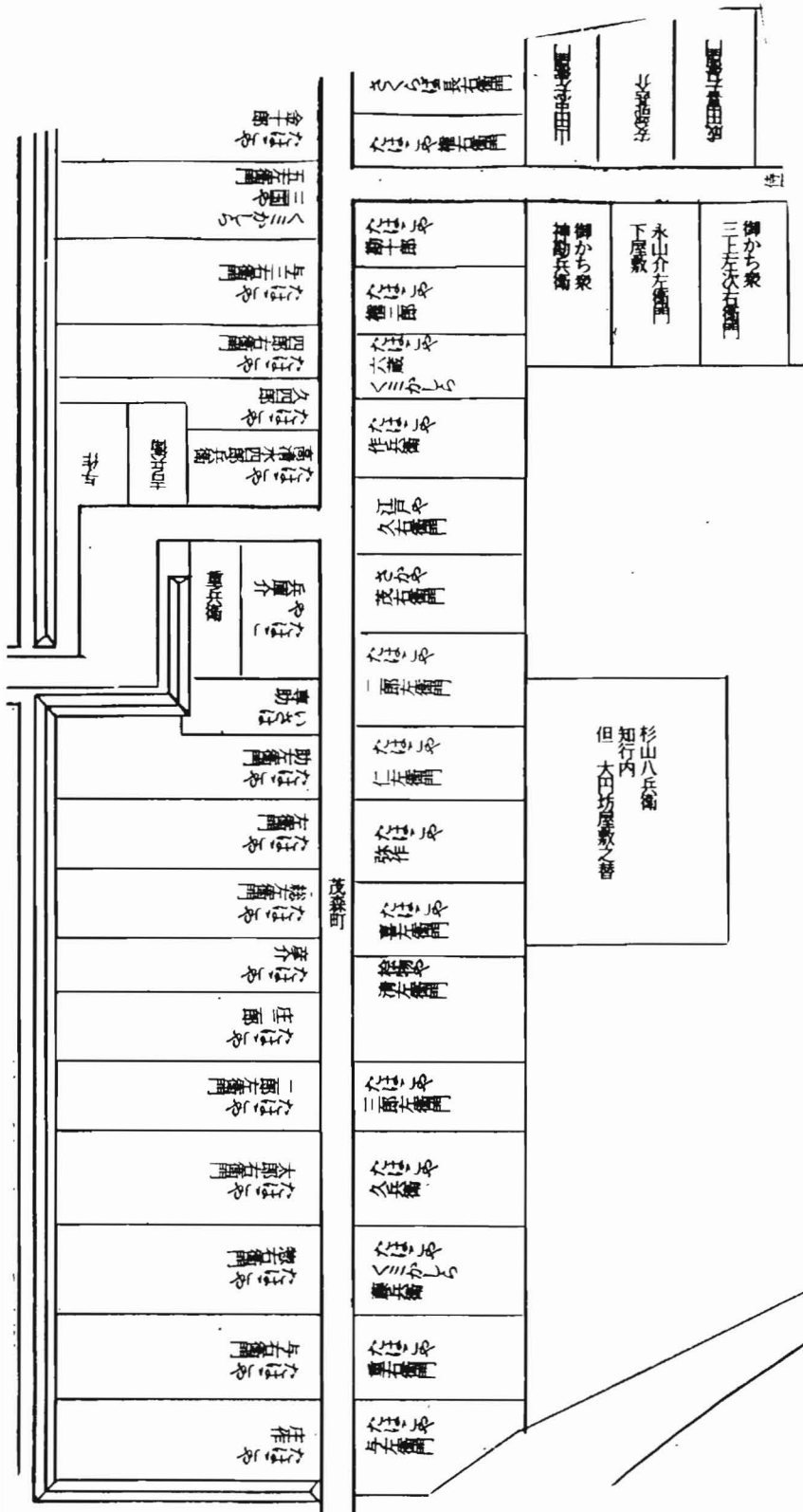


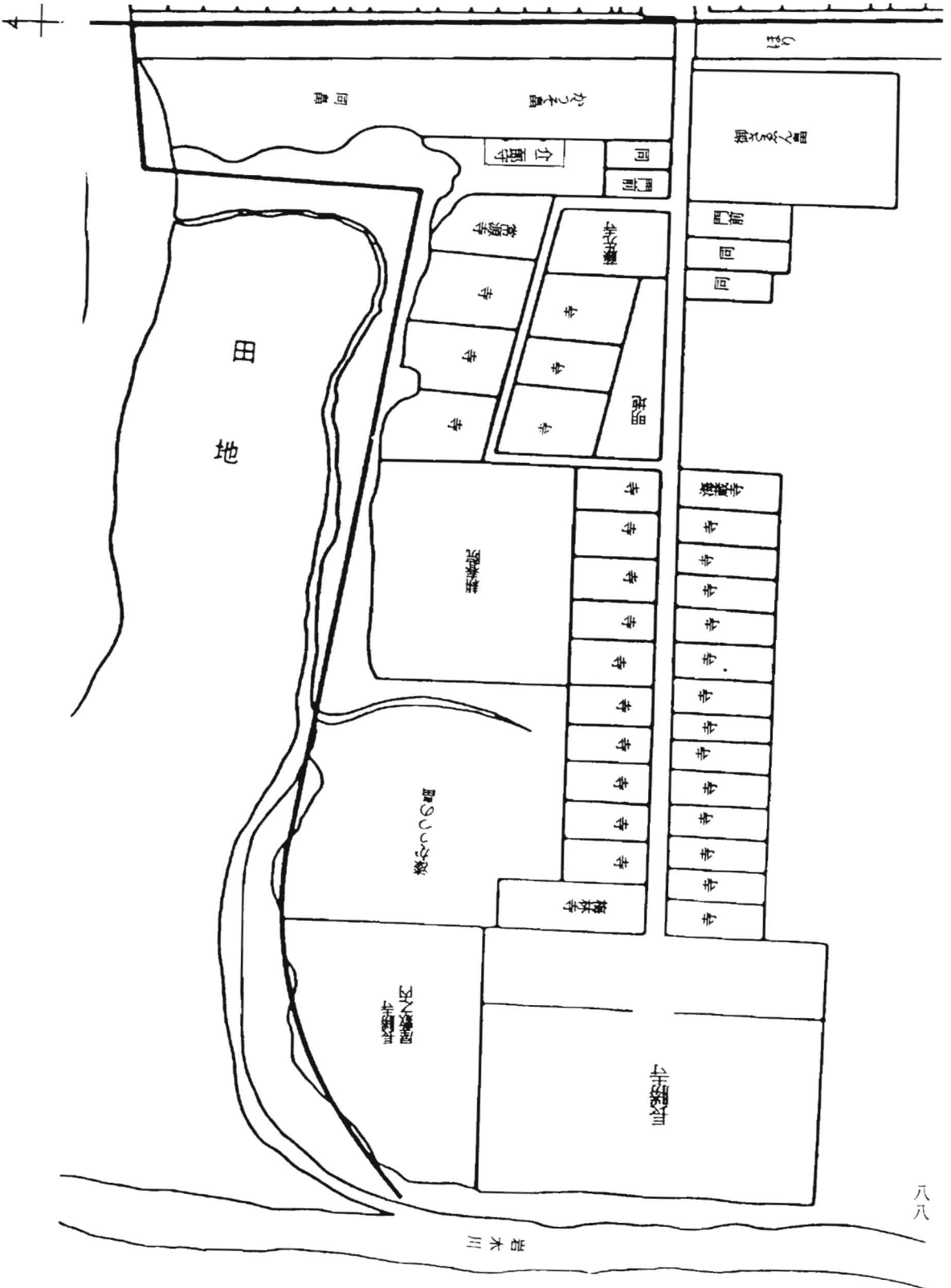
鍛冶町

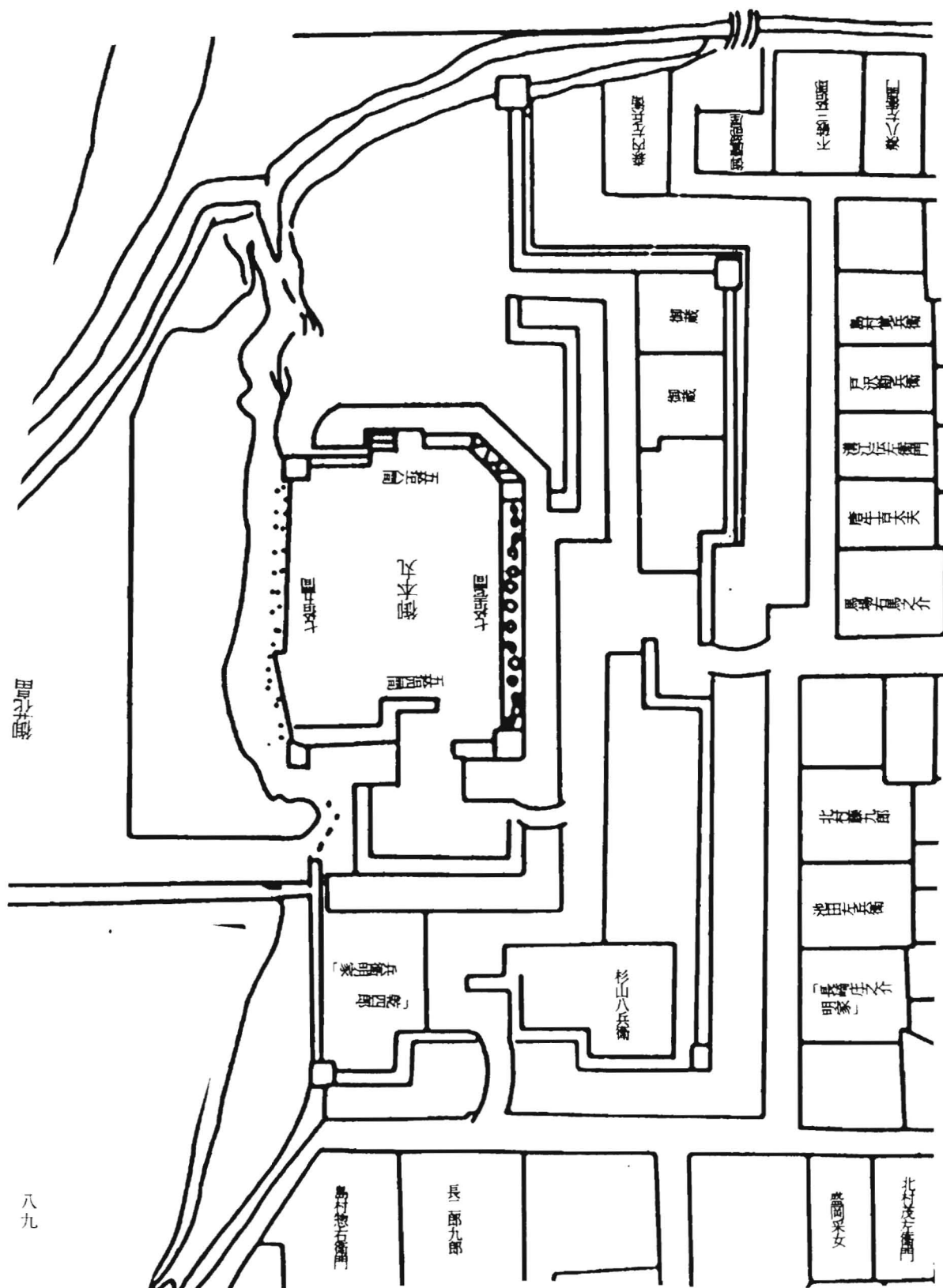
(347)

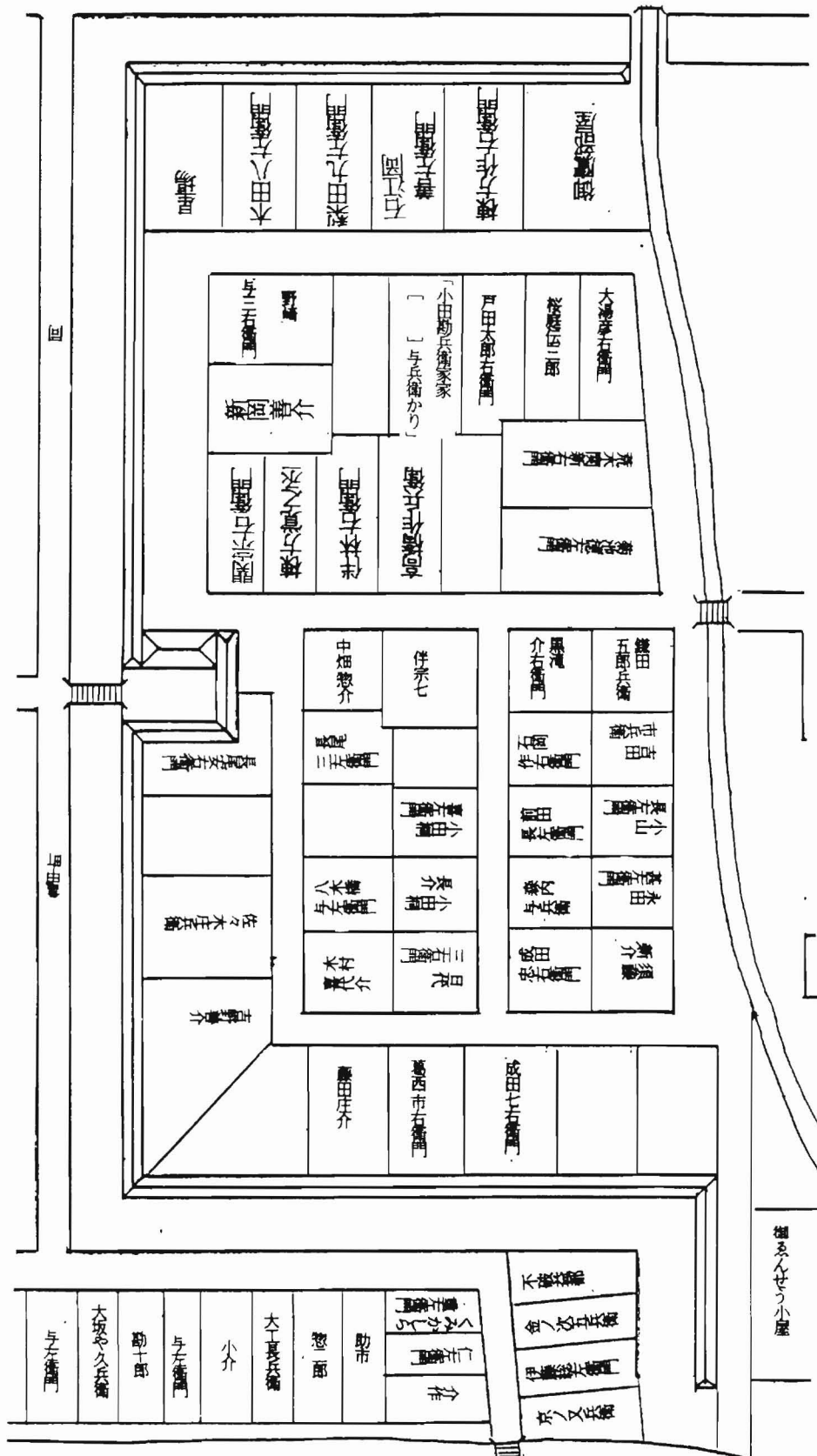
(25)

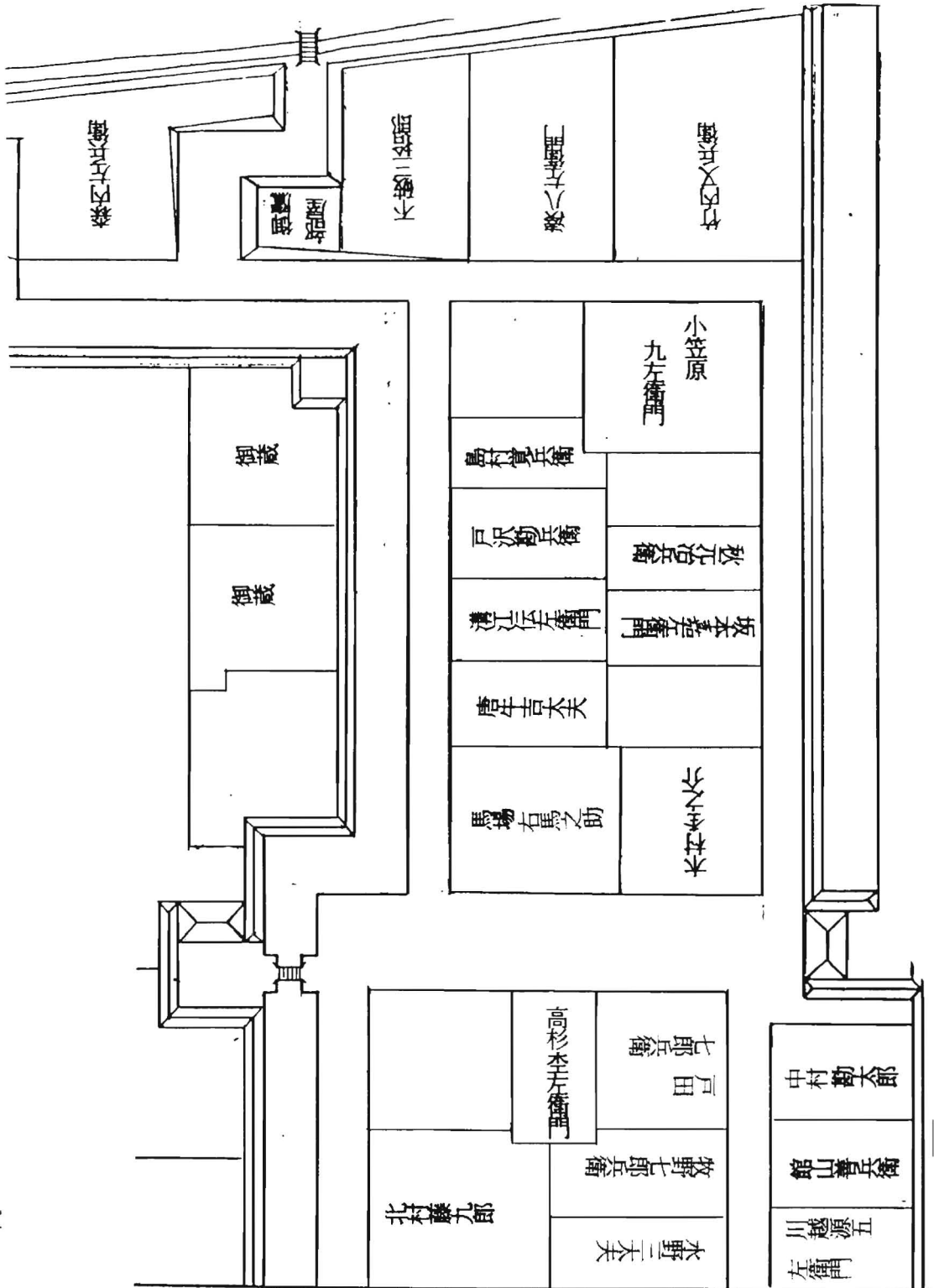












高倉五兵衛		北村藤九郎		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛		北村藤九郎		池田五兵衛	
-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--

